



沼中だより

〒059-1301
東開町6丁目1番2号
TEL 55-0340
FAX 55-0341

【学校教育目標】 高い知性・豊かな心情・強い身体

学校 HP
はこちら
から⇒



学習に向かう姿勢について考える

校長 熊谷 誠

先日、各学年一斉に1学期末テストを行いました。テストに向けて、計画を立てて学習するよう指導していますが、ご家庭での様子はいかがだったでしょう。

また、4月に実施した第3学年対象の「全国学力・学習状況調査」と、第1・2学年対象の「苫小牧市統一学力検査」ですが、「全国学力・学習状況調査」については、今月中旬頃に国から結果が送られてくる予定です。「苫小牧市統一学力検査」の結果は既に送られてきています。いずれも結果を分析し、保護者の皆様にお知らせする予定で準備を進めています。また、個人の結果も提供されます。全国平均や市の平均などとの比較も分かりますので、自分自身の学力の現状をしっかりと受け止めてほしいです。

期末テストを返却していますが、学年平均との差や学年での大まかな自分の立ち位置を知ることができますので、1学期の学習内容の定着状況が確認できます。特に第3学年は、卒業後の進路にかかわることですので、本気で結果と向き合ってもらいたいです。

予測の難しいこれからの時代を生き抜く力をつけるためには、基本的な知識や技能はもとより、自ら主体的に考え、判断し、自分の言葉や文章などで表現する力を身に付けることが大切です。これからの時代、現在人間が行っている仕事の多くが、コンピュータなどを活用した機械化に替わると言われています。そのため、単に知識を覚えていたり、単純作業をしたりするだけでは不十分であり、学びに向かう姿勢や、思考力・判断力・表現力等を高めていく必要があります。

とは言っても、勉強の得意不得意は個々の生徒によって違うのは当然。勉強に苦手意識があったとしても、少しでも努力する姿勢を大切にしてほしいです。授業中の様子を見に行くと、概ね集中して学習している生徒が多いのですが、眠そうにしている生徒や、集中していない生徒も目にします。先生方にも、生徒の意欲が高まるような授業をするようお願いしていますが、初めからやる気を感じない生徒も目にします。例えば、自分の好きなこと、得意なことには張り切って取り組むのですが、苦手なことからは目を背ける、やる気のない態度を見せる、という姿勢はどうでしょう。勉強ができるできない以前に生き方として心配になります。生徒は、将来に向かって勉強だけでなく、人間として成長していく段階にあります。社会に出て、自分の好きなことだけをできるのであればよいでしょうが、そう簡単なことではありません。

日々の学校生活は、今後の進路はもとより将来の生き方につながるものです。どの学年もまずは、間近の高校進学を見据えて目標をもち、努力することを大切にしてほしいと思います。日頃の授業を大切にすることはもちろんのこと、家庭でも主体的に学ぶ習慣を身に付けてほしいと願っています。今の自分より、一歩でも前進することを目指すことが大切です。

様々なテストや調査の結果が提供されるこの時期に、家庭でも、将来を見据えた会話をしてみるのもよいのではないのでしょうか。